

わたしにも
できるお仕事
お話し相手



支部たより ひがし

第 139 号

発行日 平成 28 年 3 月 24 日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



良い年になりますように



豚汁や甘酒の振る舞い

香取神社で「初詣の会」 若者増え、地域交流深まる

南友部会会長 佐藤 剛

南友部地区では毎年、香取神社境内において初詣会を実施しております。
南友部会員を中心に大晦日の午後、香取神社に集合し、参道や境内の清掃から初詣の会は始まります。参道の電灯の設置、テント設営、豚汁の仕込み等をして一度解散します。午後十一時に再度集合し、豚汁、甘酒の準備をしてラジカセを聴きながら新年の時報を待ちます。時報と同時ににお参りに来てくれた方々と挨拶を交わし、新年のスタートです。温かい豚汁や甘酒は参拝者の心とお腹を満たし、会話に華が咲きます。
初詣会は、由緒ある地元神社を祀りながら、地域交流づくりに長年継続してきました。これも地域の皆さまのご理解、ご協力があるからこそ毎年開催できるのだと感じています。近年、南友部内外の若者の参拝者が増えたこともその一つだと思っています。これからも香取神社での初詣の会を継続し、地域交流をより一層深めていきたいと考えております。
(地域交流事業・南友部八区合同)



わが町の自主防災は(第7回) 防災訓練と夜回り活動

飯田3区自主防災会長 鈴木 義雄

平成二十三年十一月の発足以来、毎年欠かさず続けて来たものに、防災訓練と、冬期の夜回り活動があります。
防災訓練は、情報班、救出救護班、避難誘導班など、五つの班の活動の集大成として年一回行っているもので、その都度、地震、突風などの被害を想定し、それぞれの班の目的に沿った訓練が盛り込まれるよう、心掛けています。訓練の最後には、各自持ち寄った白米をもとに給食給水班が炊き出しを行い、皆で豚汁やカレーライスを試食し合うのが恒例となっています。
夜回り活動は、消火班が中心となって、十二月から翌年二月までの三ヶ月間、毎週土曜日に実施しています。当番の五、六人が、昔ながらの拍子木を打ち、火の用心！と声を上げながら、区内の隅々を歩いて回ります。
もともと平坦で、穏やかな地勢。大震災で高まった防災意識の維持は難しい面もあります。が、互いに助け合える関係作りには期限はありません。

女性部新年のつどい 今年も元気に活動を！

一月二十四日に東支部の

「女性部新年のつどい」が社協友部会館で賑やかに開催され、女性部員と東支部役員、合わせて五十三人が勢揃いしました。昨年より十四人増えて大盛況です。

四ブロックの責任者が昨年度事業の報告をした後、新年度の活発な活動を誓い合いました。

お楽しみのビンゴゲームではそれぞれお気に入りの鉢植えの花を持ち帰りました。



防犯パトロールいざ出発

十二月十七日に笠間警察署指導の下、市内一斉に年末特別警戒防犯パトロールの出發式が行われ、東支部も参加しました。出發式の後、市役所から友部駅まで徒歩でパトロールを実施しました。

年末特別警戒 防犯パトロール



即製のタンカで負傷者を運ぶ訓練

江戸切子と予科練記念館

東支部研修交流会に参加して

柿橋北区 松川 清

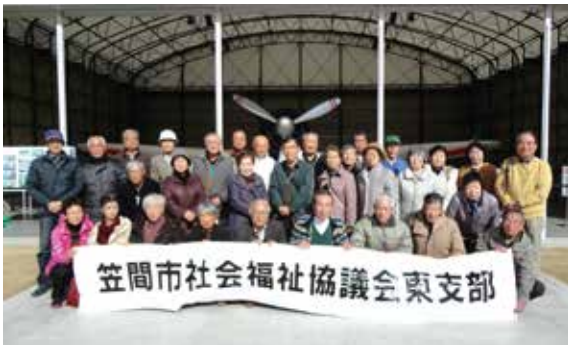


二月十日社協東支部研修交流会が開催され研修先は龍ヶ崎に本社、工場のある、カガミクリスタルと予科練平和記念館でした。午前九時定刻通り総員三十四名を乗せ社協を出発。事務局から今日一日の行動予定の説明と支部長の挨拶がありました。車は圏央道へ。

筑波の里工業団地にある見学先のカガミクリスタル本社、工場に到着後、ショールーム、事務所に通され会社の概要と注意事項等を聞き、次に、創業者各務鑑三記念館の作品を鑑賞しました。工場見学は広い敷地内の一棟で、笛吹き、切子職場、彫刻と三ヶ所を回り、百八十年の日本の文化を感じました。



見事な江戸切子



零戦をバックに平和を祈る

十一時三十分には食事處一幸へ向い、食後一時に出発し「赤とんぼのとんだ地」に到着。予科練平和記念館は平成二十二年二月に新しい建物になり五周年です。大正十年霞ヶ浦海軍航空隊が開隊され八十五万坪の広さでした。記念館は次世代に正確に伝えられるよう建設されたのです。館内で案内をうけました。設立趣旨展示の概要等、七ツボタンに因んで七ツのテーマに別けられ入隊、訓練、心情、飛翔、交流、窮迫、特攻で自由見学でした。戦争の無い日、これからも平和でありますよう祈念して記念館をあとにしました。土浦北から常磐道へ。無事四時には社協に帰着。お天気に恵まれ最高の研修日和でした。

定年後さらに学問の世界へ

南友部久保 深澤 悌二



日本近代法の礎 ボアソナード博士の像にて（法政大学構内）

私は、平成二十六年三月末をもって、笠間市役所を定年退職いたしました。在職中には市民の皆様には何かとご指導を賜り感謝申し上げます。退職後、以前在籍していた法政大学法学部（通信教育課程）に復籍し現在大学生となり東京の大学まで週に三日程通学しています。大学に復籍して感じたことがあるのでご紹介いたします。私が最高齢かと思っていいたらなんと中高齢の学生が多いのには驚きました。また、定年退職後学生となる方や同じ法政大学や、国立大学、他の大学を卒業している方々が編入学してきています。私よりずっと高齢の方が多く在籍しており、授業は真剣そのもので取り組んでいるのです。東京という地域の特性なのか、生涯学習化され

ているのではないかと思うのです。また大学も多様な学生に対する教育に取り組んでいるのです。全国にはこのような通信教育課程の大学が数多くあり約二十万人の学生が在籍して学んでいます。現在、私は家業の田畑の管理をしながら昼間の授業や夜間の授業、また、インターネット授業等を受けています。が、若い時と違って石のようになった脳に知識を吸収させることは大変です。授業中は、なるほどそうなのかと理解はしていても帰りの電車の中では思い起こそうとしても思い出せない状況となっています。それを補うためには学習しかならないと思い、家族の協力を得て学習を生活の中心に位置づけて取組んでいます。

秋晴れのいんど狩り

十一月十九日に女性部五平ブロック主催のミニサロンが実施されました。今年は高齢者二十七名、役員・区長さん十二名の合わせて三十九名が参加して大子町（岡田りんご園）に出かけました。

前日まで雨が続き、当日も雨の予報だったのですが、奇跡的に快晴となり、青い空に真っ赤なりんごが映えて素晴らしいりんご狩りを楽しむことができました。レストランでおいしい昼食をいただいた後、帰路につきました。



わあー！きれい

どんど焼きと餅つき

一月十日に「南友部三世代の集い」が行われ、厄払いのどんど焼きと餅つきが行われました。お雑煮やあんこもち、きな粉や納豆餅と一緒にいただきますながら三世代の交流を楽しみました。



どんど焼き



餅つき

編集あとがき



早いもので、「1・17」も21年、「3・11」も5年となりました。

あの恐しい日を風化させないためにも地域の皆さまに「わが町の自主防災」をシリー

ズでお知らせしています。災害への備えを改めて見つめ直し少しでもお役に立てばうれしく思います。

編集委員一同、誌面充実に努めてまいります。お忙しい中、ご寄稿くださった方々にお礼申し上げます。（野村）